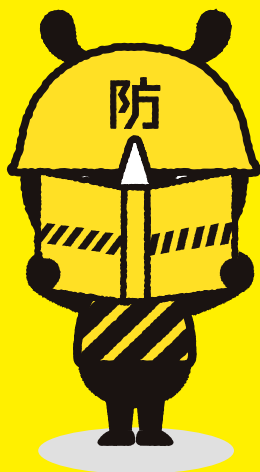


絶対知ってる 初級 ステージ



全5問 / 完了目安 1分

- 何度でもチャレンジできます。
- ステージごとに認定スタンプを進呈します。
- 全てのステージをチャレンジした方にはデジタルオフアープレゼント
- 途中で前のページに戻ったりすると回答がリセットされる場合があります。
- 防災模試では災害時の重要な知識を確認できますが、災害によって状況は異なります。状況にあった最適な判断をしましょう。

スタート

経過時間 00:00

Q1

東日本大震災の経験がきっかけで誕生した、国内ユーザー数9000万人を超える無料コミュニケーションアプリは何？



LINE

Instagram

Twitter

解答する

経過時間 00:15

Q1 東日本大震災の経験がきっかけで誕生した、国内ユーザー数9000万人を超える無料コミュニケーションアプリは何？

正解は

LINE



今や私たちの生活に欠かせないアプリとなったLINEは、東日本大震災発生時に連絡が取りづらくなった経験から、「大切な人と連絡を取ることができるサービスが必要だ」という想いのもと、2011年6月に誕生しました。その想いは、相手がメッセージを読んだことを確認できる「既読」表示にも反映されています。LINEの他にも、NTTが提供する災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」など、災害時に大切な人と連絡を取る手段は多くあります。あらかじめご家族やご友人と災害時の連絡手段を確認し、いざという時に確実に安否確認を行えるようにしておきましょう。

次に進む

経過時間 00:00

Q2 火災発生時に役立つグッズのひとつ「ポリ袋」。どんな用途で使われる？



頭からかぶる

火元を覆う

逃げる前に避難グッズを詰める

解答する

Q2 火災発生時に役立つグッズのひとつ「ポリ袋」。どんな用途で使われる？

正解は

頭からかぶる

火災による犠牲の多くが、煙に含まれる有毒ガスによって動けなくなったことによるものとされています。避難する際には煙を吸い込まないようにすることが非常に重要になります。それに役立つのが透明なポリ袋。上下に振って空気を入れ、頭からかぶれば数分間は安全に呼吸をすることができます。目を開けたまま避難することができるので非常に効果的です。



ただし、ポリ袋が有効なのは「白煙」に対して。温度の高い「黒煙」の中に入ると、袋が瞬時に溶けて顔に張り付く恐れがあるため注意しましょう。もしポリ袋がない場合には、ハンカチなどで鼻や口を覆いながら姿勢を低くして移動するようにしましょう。

次に進む

経過時間 00:00

Q3 災害時の5段階の警戒レベルのうち、「避難指示」を意味するレベル4。レベル4が発令された際に避難すべきなのは誰？

警戒レベル 5

警戒レベル 4

警戒レベル 3

警戒レベル 2

警戒レベル 1

対象地域の全員

対象地域の高齢者

対象地域の子ども

解答する

経過時間 00:15

Q3 災害時の5段階の警戒レベルのうち、「避難指示」を意味するレベル4。レベル4が発令された際に避難すべきなのは誰？

正解は

対象地域の全員

自治体から警戒レベル4「避難指示」が発令された時には、対象地域の方は全員速やかに危険な場所から安全な場所へと避難するようにしてください。ただし、対象地域内でも高く頑丈な建物内など、安全な場所にいる方は避難する必要はありません。

●災害発生危険度



かつては警戒レベル4の中に「避難勧告」「避難指示」の2種類の避難情報がありましたが、2021年5月の法改正により「避難勧告」が廃止され、警戒レベル4の時点で全員が必ず直ちに避難するよう呼びかけられるようになりました。また、高齢者や障がいのある方など避難に時間がかかる可能性のある方は、警戒レベル3「高齢者等避難」の段階で避難を始めるようにしてください。もう一つ大切なこととして、警戒レベル4「避難指示」が出てから避難の準備を始めるのではなく、「避難指示」発令と同時に速やかかつ安全な避難ができるようにしておきましょう。そのために、マイ・タイムラインを作成して適切な避難行動を事前に整理しておき、日頃からレベル1やレベル2の段階から気象情報を収集したり、ハザードマップで避難経路を確認したりしておくといいですね。

次に進む

経過時間 00:00

Q4

今後40年以内に90%程度の確率でマグニチュード8~9の大地震が発生すると言われる、日本近海の海底地形はどれ？



東海トラフ

西海トラフ

南海トラフ

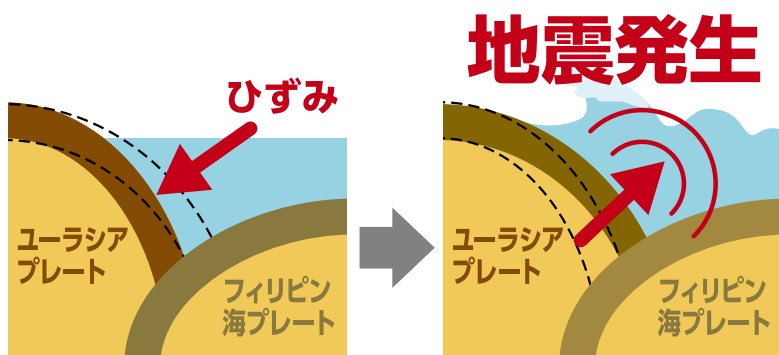
解答する

Q4 今後40年以内に90%程度の確率でマグニチュード8~9の大地震が発生すると言われる、日本近海の海底地形はどれ？

正解は

南海トラフ

南海トラフとは、東海地方から四国にかけての南方の沖合約100kmの海底にある、全長700kmの深い溝のことです。南海トラフ沿いでは、フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に沈み込んでおり、その際にユーラシアプレートが地下に引きずり込まれています。この時生じるひずみが限界に達して跳ね上がる時、大規模な地震が起こると想定されています。



激しい揺れと共に、沿岸では最大30mの津波が発生し、死者23万人超、209万棟あまりの建物が全壊するなど甚大な被害が推定されています。都内でも、島しょ地域において、最大津波高が約28m、死者数は約1,000人となるなど、甚大な被害が想定されています。このような大地震が起きても命が助かる確率を最大限上げるために、普段から防災の知識を蓄積して準備をしていきましょう。

次に進む

経過時間 00:00

Q5 次のうち、洪水の避難時に絶対に避けるべきなのは？



濡れても大丈夫なサンダル

はき慣れた運動靴

水の中も歩ける長靴

解答する

Q5 次のうち、洪水の避難時に絶対に避けるべきなのは？

正解は

濡れても大丈夫なサンダル

洪水が起きて避難するとき、肌がむき出しになるサンダルを履くのは、怪我や感染症などのおそれがあるため絶対にやめましょう。ひもでしっかり締められる運動靴を履くことを推奨します。長靴を履く場合は、ぴったりとして脱げにくいものや、口の部分を縛れるものがおすすめです。



次に進む